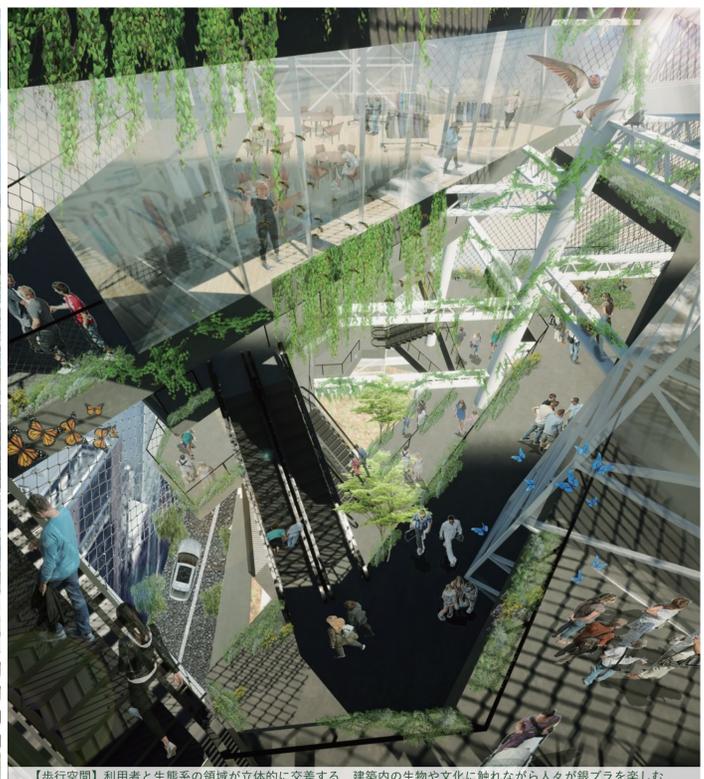
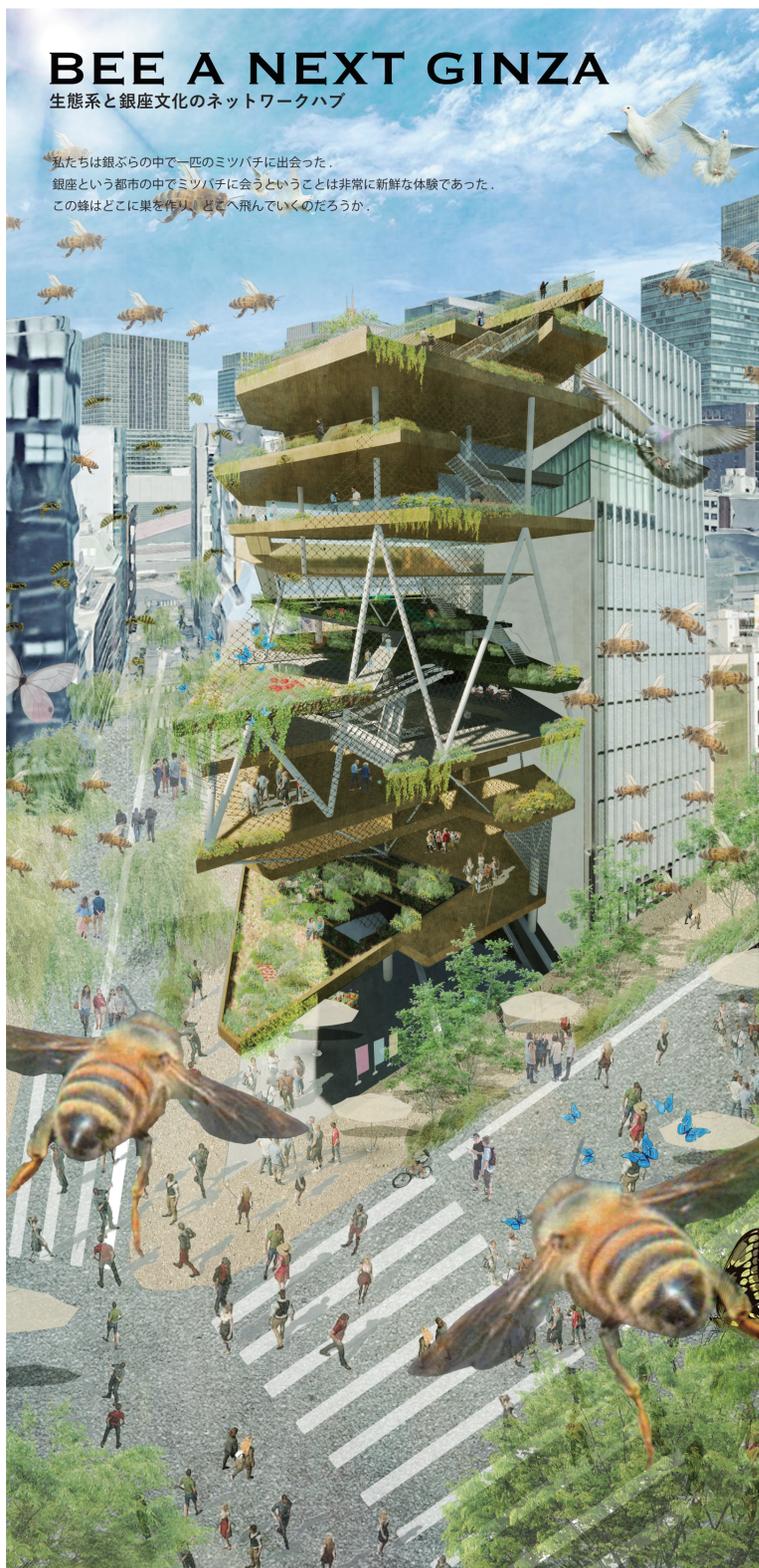


BEE A NEXT GINZA

生態系と銀座文化のネットワークハブ

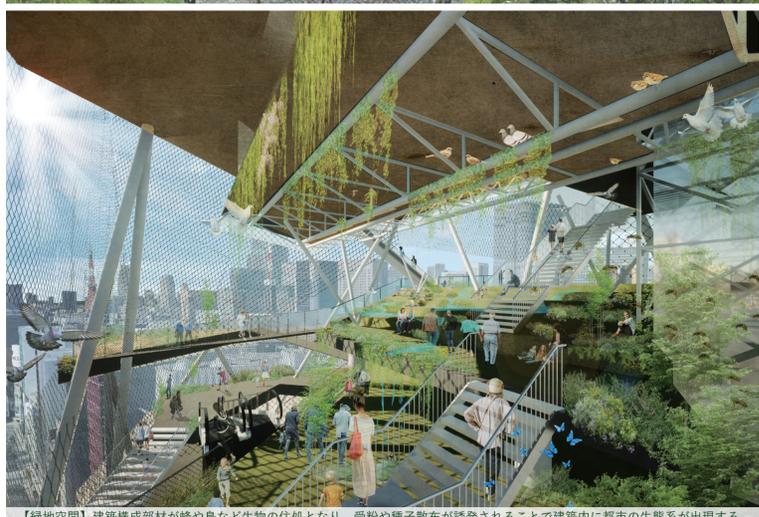
私たちは銀座の中で一匹のミツバチに出会った。
銀座という都市の中でミツバチに会うということは非常に新鮮な体験であった。
この蜂はどこに巣を作り、どこへ飛んでいくのだろうか。



【歩行空間】利用者と生態系の領域が立体的に交差する。建築内の生物や文化に触れながら人々が銀座を楽しむ。



【エントランス】銀プラ中の人々を引き込むような大空間。休憩しながらギャラリーなどによって銀座文化に触れる。



【緑地空間】建築構成部材が蜂や鳥など生物の住処となり、受粉や種子散布が誘発されることで建築内に都市の生態系が出現する



【屋上】子どもをはじめとする、あらゆる利用者が養蜂や草木染体験を通して、様々な植物や生物と触れ合う。

